

「ひとつのことやり続けて」

予備校経営の石井さん 四郷中で講演



自分の将来の職業について考えてもらおうと、姫路市立四郷中(同市四郷町坂元)で29日、同校の卒業生を招いた講演会が開かれた。東京都内で予備校を経営する石井雅勇さん(50)が「部活でも勉強でもいいので、ひとつのことを長く続けることができれば、どんな仕事に就いてもやっていける」と語りかけた。写真。

石井さんは、小中学校時代の話や留学した米・ニューヨークでの体験などを披露し、「人に負けたくないと思うものをひとつ持ち、それを挫折してでもやり続けてほしい。きつと自分を支える武器になるはずだ」と強調した。

3年の橋本竜志さん(15)は「社会で活躍する先輩の姿は励みになる。後に続けるようがんばりたい」と話していた。

キャリア教育の一環として、同校が企画。石井さんは同市出身で、四郷小・中を卒業。大手予備校講師を経て、医学部を志望する生徒らを専門に教える予備校「代官山MEDICAL」

「ひとつのことやり続けて」